

むくのきだより 9月号



令和6年9月2日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

2学期のスタート ～ 冒険する気持ちを支えて ～

園長 中村 美奈子

夏季保育では、4人のクラウンによる楽しいひとときが過ごせました。楽しい音楽や面白いしぐさに笑顔がいっぱい。「優しい気持ち」「好きな気持ち」などをこめたハートをお友達に手渡したときもニコニコでした。

この夏、絵本専門店「ブックハウスカフェ」の店主である今本義子さんの講演会を聞く機会がありました。NHKの「ドキュメント72時間」など、様々なメディアで取り上げられているので、神保町にある書店に行かれたことがある方もいらっしゃるかもしれません。インターネットで本がすぐに手に入る時代ですが、手に取って本を選べる書店として、「人と人が出会う場所」「絵本文化の発信地」になっています。1万冊を超える絵本があり、カフェやバー、イベントスペースなどもあります。今本さんから、子供が絵本の読み聞かせが好きなのは、読み聞かせを通して、「子供は安心できる場所から冒険に出て、戻ってくる」からというお話がありました。例えば、「かいじゅうたちのいるところ」(作:モーリス・センダック 富山房)は、自分の部屋から不思議な世界に行き自分の部屋に戻ってくるお話です。もっと短い冒険は、赤ちゃんが好きな「いないいないばあ」(文:松谷みよ子 絵:瀬川康夫 童心社)。子供は、安心できる場所で、安心できる人に絵本を読んでもらうことで、安心して冒険に出て、戻ってくるのです。

子供が成長するためには、冒険に出ても帰ってこられる安心できる場所・人が大切だと思います。やがて子供は、自分でお話の世界に行き戻ってくるようになっていたり、実際に親から離れて幼稚園など別の場所で様々な経験をして戻ってくるようになっていきます。そして、赤羽幼稚園も安心できる場所・教職員は安心できる人として、子供たちが冒険にでかけたり、挑戦したりするのを支える存在になるよう、これからも努力してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



アサガオ



ヒマワリ



ねこまるばたけ (芋畑)



オクラ